The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	白蟻の恐怖
Author(s)	岡野, すすえ
Citation	makoto. 1974, 6, p. 7-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86257
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

白蟻の恐怖

豊中市庄内栄町
主婦　岡野すすえ

私が当アパートの管理をしてから一年目の五月末のことでした。

外出先から帰られた隣室の奥さんがものすごい声でとびこんでこられ、何事かと行ってみると、部屋一面に羽アリがはい回っているではありませんか。〃大げさな〃と内心思っていた私もさすがに驚きました。〃えらいことになった〃と、家主さんへ走るやら、アースをまくやら大さわぎでした。役所の衛生課へ問い合わせましたところ、大阪防疫協会を教えて下さいました。防疫協会へ電話しますと、丁度繁殖期で各所からの申出が殺到しており早急には出かけられぬとの返事、とにかくお願いしますと拝みたい気持でした。

天井や窓、畳の上、流しの洗物の上等、はいまわる光景は肌が粟立つ思いでした。千秋の思いで待った防疫協会から四日目に見えられ、床下に白アリの巣が見つかり被害箇所が広範囲に及んでいることがわかり、家主さんに立合ってもらい、床下全部防除することになりました。被害箇所の切除、補修を完備してから一せい消毒、職業とは申せ、むし暑い中の床下作業は大変だったと思います。床下面積百坪（三三〇㎡）足らずで十日間、防除完了の日の作業員の方の声はかすれ眼は赤く充血していて、薬剤の強力さを物語っておりました。お蔭さまで翌年は羽アリもごきぶり、蚊、ハエにいたるまで見られなくなりました。

家屋は常に通風、排水等を点検し、防除していたら被害も最少限度に防げることがよくわかりました。消毒、材木等費用がかかりましたが、十年間保証なら長い目で見れば決して高くはないと家主さんと話したことです。

日頃新聞やテレビで見聞きしても無関係のように見逃しておりますが、湿気を好む白アリの習性をこの目ではっきり見た私は、新築される方は基礎から柱に至るまで防除されること、従来からある家屋は床下の点検をされ、住み良い環境を持たれますことを声を大にして申上げたいと思います。

最後に大阪防疫協会に対する信頼、作業に当られた方の責任観念と熱意に対して最上の敬意を表します。